

i.Bou-GHS の運用に必要なファイアウォール設定について

i.Bou-GHS のアップデートは、アプリケーション起動時に自動で実行されます。通信はすべて クライアント主導(Pull 方式)のアウトバウンド通信 です。外部から社内ネットワークへ新たに接続を開始するインバウンド通信は行われません。

1) データベース更新

- 通信方式:TCP/49161 (Outbound)
- 宛先:msds-ghs.com (IP: 180.222.182.135)
- i.Bou-GHS 起動時に、端末側からアップデートサーバーへ接続します。
- 固定ポート(49161)を明示して接続しているため、UDP 1434 (SQL Browser) は不要です。
- 更新に必要なデータ(SQL スクリプトまたは差分データ)を取得し、端末内の SQL データベースへ適用します。
- 更新結果(成功/失敗フラグ)をサーバーへ返送後、セッションは終了します。

※クライアント側で TCP 49161 のインバウンドポートを開放する必要はありません。
※アウトバウンド TCP/49161 を許可いただければ、戻り通信は既存セッション内で処理されます(通常の Stateful ファイアウォールの場合)。

2) プログラム更新

- 通信方式:HTTP (TCP/80 Outbound)
- 宛先:msds-ghs.com
- 起動時に、プログラム更新ファイル(RAR 形式)をダウンロードします。

一部環境では、RAR 形式ファイルがファイアウォールまたはセキュリティゲートウェイ(プロキシ、コンテンツフィルタ、IPS、アンチウイルス等)によりブロックされ、更新が失敗する事例があります。

3) 設定をお願いしたい項目

以下の通信を許可してください:

1. クライアント PC → msds-ghs.com
 - TCP/49161 (Outbound)
 - TCP/80 (Outbound)
2. 上記通信に対する戻り通信 (Established / Related)
3. RAR 形式ファイルのダウンロード制限がないこと

アップデートの正常動作のため、適切な設定をお願い申し上げます。
ご不明点がございましたらお知らせください。

何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社 iBou